



## 地域でともに生きる

### ～知ることから始まるセルフわらしべさんとのつながり～

杉中学校区にはたくさんの福祉施設があります。そのうちのひとつの「セルフわらしべ」さんについてみんなに知ってもらおう授業がありました。「セルフわらしべ」さんとは、以前、杉中学校の生徒が利用者さんを笑ったりからかったりしたということがありました。授業では、だれもが過ごしやすい社会について考える授業を行いました。クラスで交流し、自分の考えを深めることができました。感想の一部を紹介します。

\*日本の中でも世界の中でもたくさんの異なる部分を持っている人がいるから、それぞれが持っている違いをみんなが認め合えばみんなが生きやすくなると思った。

\*障がいという概念をなくすといいと思う。まずは自分や周りの人から変えていきたいと思いました。

\*大人、子供、老人、障がいのある方すべての層にあったコミュニティをつくり、話し合ったり、遊んだり、ふれあいの機会があれば社会を身近に感じられるので良いかなと思った。

\*クラス目標が当てはまるとおもうから、まずはクラスから変えていきたい。

\*一人一人が助け合って一緒に協力しているのを見て、それをみんなが意識すればこの先の社会はもっと良くなると思いました。

\*自分は行ったことがあるからわかるけど、わらしべの人たちは、みんなが仲が良くて助け合っていてすごくいいメンバーだと感じました。みんなが優しく接してくれてうれしかったし、その気持ちになる力がわらしべの力なんだと思いました。

\*この世界には様々な人がいて、その人たちにとっての「安心・安全」とかが人によってさまざまな考え方があるのでまとめくって「バリアフリーやユニバーサルデザイン」(が必要)と思ったけど、「目が見えない人」や「耳が聞こえない人」にとっての安心・安全とはなんなのか、考えたいと思いました。

\*知らなければ、どういう思いをして過ごしているのかもわからないのでからかってしまうかもしれないけれど、もし障がいのことを知っていれば、(中略)「がんばれ!」と思えるようになると思うので、まずは知ることが大事だと考えました。

\*誰もが過ごしやすい社会とは、日常生活の中で少しでも困ったりしている方を見たら、小さなことでも手助けしてあげることが大切だと思う。それには、「気づかい」が必要だと思う。障がい者とか、関係なくしていくこと。

## あきらめない心

お待たせしました!

### ～世界的ジャグリングパフォーマーちゃんへん。「ボクは挑戦人」～

7月5日にちゃんへん。さんの講演会がありました。教科書では学べない、熱いメッセージ、感動的な歌やジャグリングなど、印象に残った人も多かったようです。感想を一部紹介します。

☆自分もコンプレックスを持っているから、ちゃんへん。さんの言っていることがすごく共感しました。コンプレックスをどう武器にするかが大事ですね。最後の歌は、自分の心にはじめてさざりました。人ってこんなにも変われるんだ。じゃあ、自分も変われるかな?と思うようになりました。

☆ちゃんへん。さんは、つらい過去や苦しいことを乗り越えてキラキラの笑顔でパフォーマンスができていたんだと心を動かされました。自分の人生の道を好きなことに向き合う気持ちや大好きなものへの関心を力に変えて突き進んでいく感じがものすごくかっこよかったし、訴えかけてくるものがあると、感じました。

☆特に心にさざったのは、すべてがすべて、同じになるわけではないという言葉です。自分だけの個性をこれからは活かされるようにしたいし、コンプレックスが武器になるとも言っていたので自分がいやなところもよいところも行かせていきたいと思いました。

☆ちゃんへん。さんの2曲目が、泣きそうになりました。あと、パフォーマンスを見てとてもうまくてすごかったし、自分に夢があるっていいと思ったし、自分も夢をもちたいとおもいました。